

技術・家庭（家庭分野）

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書 ◆	家庭 002-72	A B 298	令和6年
6	教育図書	教 図 ◆	家庭 006-72	A 4 変形 296	
9	開隆堂出版	開隆堂 ◆	家庭 009-72	A B 314	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

校 種		聴覚障害特別支援学校	肢体不自由・病弱特別支援学校
観点	生徒の実態	・両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上で、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度である。	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度である。 ・慢性の疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度である。
	内容の取扱い等	①視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。 ②生活経験を広げるような学習活動を紹介しているもの。	①上肢の操作を伴うものであっても、教材や補助的手段等を活用して、実際に学習しやすい活動があるもの。 ②経験不足を補えるように、生活に結び付いた学習活動が示されているもの。 ③肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの。
	2 障害への配慮を要する内容等	①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。	①上肢の操作を伴うため、道具等を扱う学習活動に困難が想定されるもの。 ②安全への配慮から、道具等の取扱いに困難が想定されるもの。 ③アレルギー疾患等に関わる配慮が必要なもの。
構成上の工夫		①聴覚の障害を補えるように、概要や手順を写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。	①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に示されているもの。

中学部 家庭(聴覚障害特別支援学校)

教科書発行者		東書	教図	開隆堂	
内容	内容区分の量	A「家族・家庭生活」	59	56	72
		B「衣食住の生活」	164	160	176
		C「消費生活・環境」	28	44	30
	実践的・体験的な活動を取り上げている箇所数	①調理に関する事項	53	59	52
		②被服に関する事項	24	13	15
		③幼児や高齢者との関わりに関する事項	12	9	12
	「生活の課題と実践」に関する内容のページ数	11	10	12	
	キャリア教育に関する内容を取り上げている箇所数	18	10	18	
	安全・衛生に関する内容を取り上げている箇所数	35	42	32	
	持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元数	6	6	8	
	発展的な内容を取り上げている箇所数	9	7	14	
聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。 ②生活経験を広げるような学習活動を紹介しているもの。	40箇所 ①「バランスの良い献立作り」では、写真で示してある主菜や主食、副菜などを見ながら、献立や配膳方法について考える活動がある。(P48) ②「災害への対策」では、家庭や学校、地域の住環境について調べ、必要な地震対策を考える活動を紹介している。(P183)	28箇所 ①「幼児とふれ合ってみよう」では、幼児と一緒に過ごしながら、幼児の遊ぶ様子や周りの大人と関わる様子を観察する活動がある。(P60) ②「目的に合わせて自分らしく着よう」では、自分で浴衣を着たり、たたんだりする活動を紹介している。(P159)	45箇所 ①「自分らしい着方」では、カラーコーディネートを考える活動として、自分や友達に様々な色の布を当てて検討する活動がある。(P204) ②「購入のときに考えること」では、商品を選択する際の要点を示し、目的等に応じて商品を選ぶ活動を紹介している。(P267)		
聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。	3箇所 ①「家族や地域の高齢者との関わり」では、高齢者との関わり方について、聞こえやすい大ききで話すことや、優しく声をかけることを示しており、取り扱う際には配慮を要する。(P263)	1箇所 ①「調理の基礎を知ろう」では、食事の際の主なマナーの1つとして、咀嚼音を例に、不快な音を出さないことを取り上げており、取り扱う際には配慮を要する。(P111)	2箇所 ①「食品と調理」では、おいしさに影響する五感の1つとして聴覚を取り上げており、取り扱う際には配慮を要する。(P116)		
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	10.5ポイント	11ポイント	10.5ポイント	
	欄外の文字の大きさ	7ポイント	7ポイント	7ポイント	
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、概要や手順を写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。	①「栄養素の種類と働き」では、栄養素の種類と働きを、図やイラストで視覚的に説明している。(P35)	①「家庭内事故から家族を守ろう」では、住まいの中で起こる事故の例を、見開きページにより具体的なイラストで示し、視覚的に説明している。(P212-P213)	①「洗濯機で洗濯してみよう」では、洗濯機洗いの手順を、イラストや写真を用いて見開きページで説明している。(P194-195)	
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	あり	
	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	
	オリンピック・パラリンピックの扱い	なし	なし	あり	

中学部 家庭(肢体不自由・病弱特別支援学校)

教科書発行者		東書	教図	開隆堂	
内容	内容区分の量	A「家族・家庭生活」 B「衣食住の生活」 C「消費生活・環境」	59 164 28	56 160 44	72 176 30
	実践的・体験的な活動を取り上げている箇所数	①調理に関する事項 ②被服に関する事項 ③幼児や高齢者との関わりに関する事項	53 24 12	59 13 9	52 15 12
	「生活の課題と実践」に関する内容のページ数	11	10	12	
	キャリア教育に関する内容を取り上げている箇所数	18	10	18	
	安全・衛生に関する内容を取り上げている箇所数	35	42	32	
	持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元数	6	6	8	
	発展的な内容を取り上げている箇所数	9	7	14	
	肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①上肢の操作を伴うものであっても、教材や補助的手段等を活用して、実際に学習しやすい活動があるもの。 ②経験不足を補えるように、生活に結び付いた学習活動が示されているもの。 ③肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの。	50箇所 ①「肉の調理」では、肉を軟らかくする方法として、麺棒などの道具を使う活動を示している。(P81) ②「何を考えて決めますか」では、商品の購入に際して、金額や機能など商品の情報を収集し比較する活動を示している。(P207) ③「災害への対策」では、段差をなくすために仮設住宅に簡易スロープを用意する工夫を示している。(P185)	50箇所 ①「衣服の手入れをしよう」では、衣類の洗濯後について、乾燥機を使用する活動を示している。(P169) ②「身近な調理器具」では、主な調理器具の写真を見ながら、目的に合わせた器具の選択について考える活動を示している。(P104) ③「生活の課題と実践」では、学習発表する活動に車いすを使用する生徒のイラストを示している。(P266)	57箇所 ①「1日分の献立」では、電子レンジを使って調理が可能な副菜の例を示している。(P168) ②「どうして衣服を着るのだろう」では、様々な服装の人々の写真を見ながら、衣服の動きを考える活動を示している。(P184-185) ③「未来を見すえた住まい方」では、段差をなくし車いすで入れる校舎やトイレを示している。(P258)	
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、道具等を扱う学習活動に困難が想定されるもの。 ②安全への配慮から、道具等の取扱いに困難が想定されるもの。 ③アレルギー疾患等に関わる配慮が必要なもの。	28箇所 ①「家族や地域の高齢者との関わり」では、高齢者の歩行を介助をする活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P263) ②「作って楽しい布作品」では、ミシンの準備をして布を縫う活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P148-149) ③「弁当作りに挑戦しよう」では、卵を使ってだし巻き卵を作る活動があり、アレルギー疾患への配慮が必要である。(P97)	32箇所 ①「布を使ってつくってみよう」では、裁ちばさみを使って縫いしろ線に沿って布を裁断する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P181) ②「調理の基礎を知ろう」では、包丁を使っていろいろな切り方で切る活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P106-107) ③「計量・火加減の調節」では、卵や牛乳を使ってホットケーキを作る活動があり、アレルギー疾患への配慮が必要である。(P109)	31箇所 ①「和服の文化にふれてみよう」では、一人で浴衣を着て腰ひもを締める活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P208-209) ②「補修や収納・保管」では、衣服にアイロンをかける活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P197) ③「肉の特徴と調理」では、卵や牛乳を使って煮込みハンバーグを作る活動があり、アレルギー疾患への配慮が必要である。(P130)	
	構成上の工夫	本文の文字の大きさ	10.5ポイント	11ポイント	10.5ポイント
欄外の文字の大きさ		7ポイント	7ポイント	7ポイント	
ふりがな		未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	
障害の状態に応じた事項、その他 ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に示されているもの。		①多くの編末に「学習のまとめ」があり、確認問題等を通して、学習したことを振り返ることができるように示している。(P110-111など) ②「購入方法と支払い方法」では、店舗販売の具体例を枠囲みで示している。(P196)	①章末に「章末のまとめ」があり、確認問題等を通して、学習したことを振り返ることができるように示している。(P68など) ②「生鮮食品の選択と購入」では、生鮮食品の旬を季節ごとに写真で示している。(P95)	①章末に「学習のまとめ」があり、確認問題等を通して、学習したことを振り返ることができるように示している。(P86-87など) ②「加工食品の種類と特徴」では、いろいろな加工食品を分類して写真で示している。(P152)	
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	あり	
	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	
	オリンピック・パラリンピックの扱い	なし	なし	あり	